

結婚するならふじみ野市

加藤恵一 議員

問 ふじみ野市PR大使ふじみんを活用した婚姻届・出生届を発行しては。
答 平成27年度の婚姻・出生届の処理件数は、合計2124件となっている。費用対効果も考慮し、提出用・記念用届出書と両面から検討を進めている。

ふじみ野版ふるさと納税

問 ふるさと納税の導入後の状況は。
答 平成28年度、ふるさと納税寄付金額は、当初予算で50万円を見込んでいたが、11月30日現在で90万円、件数は79件と見込みを上回る状況となっている。
市民から愛される地域公共交通へ
問 市内循環ワゴンにキヤラクターデザインのラッピングをしては。

答 平成28年8月から9月にかけて愛称を募集、応募の中から愛称を「ふじみん号」に決定、現在



京都府精華町の出生届（一部抜粋）

認知症になっても安心なまちに

伊藤美枝子 議員

問 認知症介護のアンケート調査を行っては。
答 認知症高齢者や家族を含めた実態をアンケート調査で把握する。
問 介護予防拠点の整備を。
答 介護予防・日常生活支援総合事業の実施にあたり、空き家対策での空き家の活用や介護事業所との連携等を検討する。
問 認知症の人を見かけたときの、情報伝達や声掛けの模範訓練を行っては。
答 前向きに検討していきたい。

踏切に歩道の幅を

問 丸山と駒西間にある踏切が狭く、歩行者などが大変危険。歩道を拡幅し安全確保を。
答 歩行者・自転車利用者の安全・安心を確保するため、川越県土整備事務所に要望していく。
ひきこもり支援をどうするか
問 ひきこもりの把握をするには。
答 地域のネットワークや訪問支援などで積極的

市内循環ワゴン利用料の減免制度拡充を

伊藤初美 議員

問 1回200円の利用料は民間路線バスより高い区間がある。高齢者の減免制度の復活を。
答 運賃収入は、循環ワゴンの経営を持続的に支える財源なので、利用者に一部を負担してもらうている。減免の拡大は考えていない。

三芳スマートIC大型車通行問題

問 公共交通の空白地域に増便を。

答 空白地域でも、利用が極めて少ない路線や時間帯は、実証運行の結果を見て検討していく。

の条件を地域住民の理解を十分に得ることとした。あと2年で、この条件が満たされるのか。
答 主要なアクセス道路における必要な対策箇所の協議は、昨年度から近隣市町などと調整している。平成30年度末の供用開始に向けて必要な対策を進める予定である。



高齢者に活躍の場を

小林憲人 議員

問 農業の担い手不足や遊休農地対策として、元気な高齢者が農業を手伝う、援農ボランティア制度の導入を。
答 都市近郊地域で当該制度が実施されている。課題を精査し、他の自治体を参考にし、検討する。



「農」ある風景

自ら学ぶ力を
育む教育の推進を

問 2020年にプログラミング教育が必修化の予定。考えは。
答 次期学習指導要領の審議のまとめや国の動向を注視していく。

雇用と定住を
促す条例を

問 近隣自治体では、中小企業の健全な発展を図り、地域の活性化や市民生活の向上を目的に、中小企業振興基本条例が策

効率的な徴収業務を

問 市の債権の適正管理に向け、債権管理条例の制定を。
答 適正な債権管理体制をしき、条例制定を進めていく。

保育所など子育て支援の充実を

塚越洋一 議員

問 平成29年4月時点の待機児童・入所保留児童の予測人数は。
答 平成28年度同様に増加傾向を示している。入所申請が行われたところで予測が困難な状況である。

オスプレイ飛来の問題

問 3歳未満児の定数増対策と保育所新増設計画は。
答 認定こども園と小規

問 小規模保育施設への支援を充実すべきでは。
答 新設・改修に国・市から整備費を支援する。経営基盤の安定する認可小規模保育所等への移行を促進する。

問 ファミリー・サポート・センター事業の抜本的充実が求められている

が、何が課題か。
答 サービス提供会員の高齢化や稼働できる人が限られている。市報でのPRと、運営方法の見直しを検討している。

問 米軍オスプレイが平成28年10月22日と23日に本市上空に飛来した。市として抗議を。
答 安全飛行の徹底や横田基地配備については、県基地対策協議会を通じて要望していく。

小・中学校のICT環境の整備状況は

島田和泉 議員

問 市内小・中学校のICT環境整備状況は。
答 各学校にデスクトップPCを40台、学校規模に応じノートPCを10、30台、電子黒板や書画カメラを各5、6台設置している。無線LANは全校に構築済み。タブレット

ト端末は平成27年度、小学校4校に各40台導入した。
問 ICT環境整備の今後の計画及び年間の維持費は。
答 市内全小中学校にタブレット端末を導入する計画。平成29年度に小中

学校9校、平成31年度に6校へ導入予定。市内全19校の年間維持費はリース料、修繕費、消耗品費等で約1億6千万円となる。
問 生涯学習や地域活動への設備利用は。
答 地域と共に子どもたちを育む「共育」を推進する本市として重要なことと捉えている。今後情報セキュリティの観点から十分に考慮し、慎重



電子黒板を使った授業風景

に検討したい。



丸山 - 駒西間の踏切

旧福岡高校跡地活用時の住環境変化への対応

問 旧福岡高校跡地の公園化に伴う、福岡地域の

問 権現山、福岡河岸、新河岸川の景観を時間と空間の歴史回廊として保



問 3歳未満児の定数増対策と保育所新増設計画は。
答 認定こども園と小規